

日本企業によるベトナム進出の動向：2022 年最新動向の解説

I. はじめに

2022 年 11 月現在、コロナ禍に伴う国際的な規制は緩和されつつあり、旅行・観光業をはじめとする多くの事業活動に活発さが戻りつつある。

今回は、岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスクとして、日本企業のベトナム進出に関連する情報をアップデートする。

II. 近年の日本企業のベトナム進出の動向

日本企業のベトナム進出の黎明期は、ベトナムの「ドイモイ政策（刷新政策）」導入前後である 1980 年代後半から 1993 年頃である。この頃の日本はいわゆるバブル経済で、日本企業が海外進出をするメリットは大きくなかったため、実際にベトナムに進出した企業は多くない。

日本企業のベトナム進出が本格化したのはバブル崩壊後である。日本の市場経済の縮小を受け、ベトナムの消費市場に注目した大手の内需向けメーカーが多く進出した。この時期に進出した企業は、現在のベトナムで広く認知され強いブランドを築いている企業が多い。

その後は中国の人件費上昇、カントリーリスクの増大等を受け、製造拠点を中国国外に設ける「チャイナプラスワン」の動きが活発化した。ベトナムは豊富な労働人口や比較的低い人件費、安定した情勢等の理由で、消費市場としてではなく新たな製造拠点として多くの外資系メーカーが進出した。

そして、2010 年代後半から、ベトナムの消費市場が再び注目を集めている。前述の製造業を中心に経済発展が進み所得が上昇し、所得における中間層・富裕層が拡大していることが最も大きな理由である。ベトナムの消費市場に注目する小売企業の進出が増加している。

III. ベトナム進出のメリット

ベトナム進出のメリットは、大きく分けて 3 つ挙げられる。

<長期的な成長性>

ベトナムの経済成長は、2050 年を目安に長期的に継続するとされている。ベトナムの人口は今後も増加し続け、2040 年代には日本の人口を上回るという予測もある。また、ベトナムの平均所得は増加しているが、統計には表れにくい副業が盛んであり、実際には統計以上にベトナム人の所得は高いという見方もある。

<現代的な小売形態の発展>

ベトナムでは伝統的な市場やパママショップと呼ばれる個人商店が、主な小売形態である。一方で近年は、コンビニエンスストア、スーパーマーケット等の現代的な小売形態が増加している。前者の伝統的な小売形態は大半が零細事業者のため、在庫が残ることが大きなリスクである。したがって既に販売している定番商品を優先するため、新規参入する外資系企業の製品を流通させることは難しい。

コンビニやスーパー等が増加することは、日本企業を含んだ外資系の小売企業の追い風である。また、ベトナムではコロナ禍を契機にEC（オンラインショッピング）が急速に発展しており、大きなポテンシャルを秘めている。

<比較的小さいカントリーリスク>

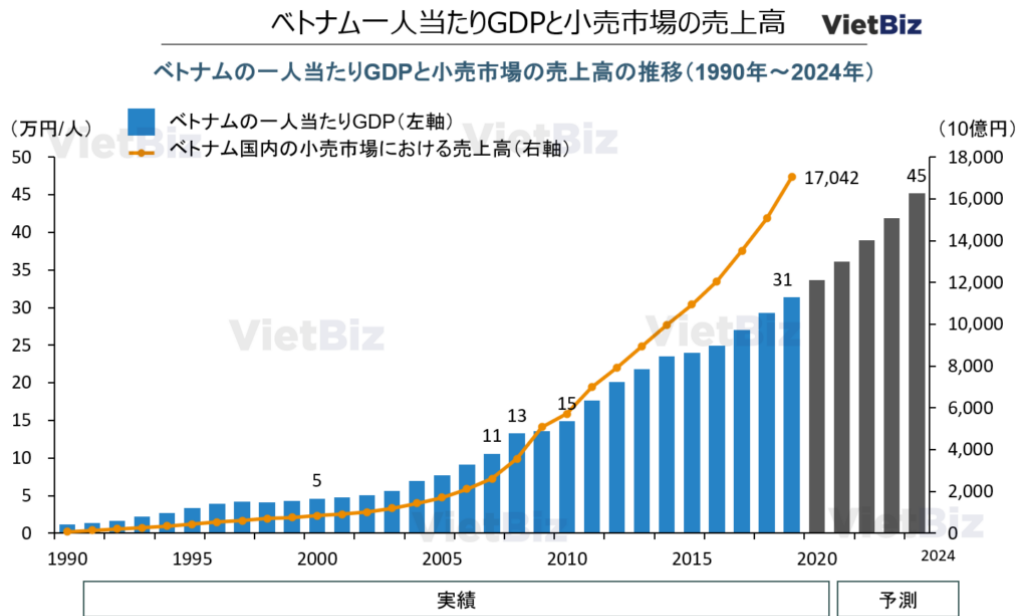
ベトナムは安定した政権や全方位的な外交方針、良好な治安など、事業展開の上で比較的良好な環境である。ベトナムは社会主義国で共産党の一党制であると聞いて不安視されがちであるが、共産党内部は集団指導制であり、言論・報道・宗教・人権など、様々な規制は他の社会主義国よりも比較的緩やかである。

IV. 今後の展望

これらのことから、ベトナム進出の今後は以下のとおり、考えられる。

・日系小売企業の進出は更に増加

→長期的な人口増・経済発展により消費市場の拡大も継続し、新規参入が更に増加。



・需要の多様化

→消費者の購買力が増大し、コストパフォーマンス以外の要素を重視する消費者が増加して、新たなニッチ市場が誕生する。

・小売形態の変化に伴い関連産業も発展

→特に EC の発展に伴う物流分野、特にコールドチェーンの発展が有力。電子決済に代表される IT 分野も有望。

V. さいごに

本レポートでは、ベトナム進出のこれまでのトレンドや、今後の展望を整理・考察した。ベトナムの消費市場は今後さらに拡大・複雑化していくので、可能な限り早めに進出し基盤を築ければ、将来絶頂期を迎えるベトナムの消費市場で、高いプレゼンスを発揮できるのではないだろうか。

VI. 参考文献

ベトナム進出の基礎解説 | 日本企業が海外ビジネスを成功させるコツ

<https://vietbiz.jp/vietnam-business/>

ベトナム進出方法の解説：日本製品の販売方法と流通形態の考察

<https://vietbiz.jp/market-development/>

Mở ra cơ hội đầu tư cho doanh nghiệp Nhật Bản tại Việt Nam

<https://www.vietnamplus.vn/mo-ra-co-hoi-dau-tu-cho-doanh-nghiep-nhat-ban-tai-viet-nam/815608.vnp>

Doanh nghiệp Nhật Bản cam kết tăng đầu tư năng lượng tại Việt Nam

<https://baodautu.vn/doanh-nghiep-nhat-ban-cam-ket-tang-dau-tu-nang-luong-tai-viet-nam-d172235.html>

※岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク

<<日本国内デスク（ONE-VALUE 株式会社内）>>

【所在地】東京都江東区亀戸 2-44-5 TOWA イマス亀戸ビル 6F

【担当者】三浦 賢弥（みうら けんや）

<<ベトナム/ハノイ現地デスク(ONE-VALUE ベトナム支社内)>>

【所在地】14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

以上